

藤沢記者クラブ各位

Ma a Sによりデータ分析を活用したDXに本格着手

～市内の交通手段と観光施設をお得に巡るデジタルチケット販売等を実施～

本市は、藤沢市Ma a S基盤強化事業において、小田急電鉄株式会社（社長：星野 晃司）を運営主体として、市内交通事業者と観光事業者の再活性化に向けた取組を進めています。

本年11月16日（水）から順次、機能実装されるコンテンツのサービスを開始します。

今回発売されるお得な割引電子チケットなどを通じ、Ma a Sアプリ「EMot^{エモット}」をより多くの方にご利用いただくことで、観光面におけるDXや混雑緩和による三密の回避、公共交通機関の利用促進による脱炭素化等に寄与するものです。

また、入国制限の要件等が大幅に緩和されたことによるインバウンドの回復を見据え、今後のインバウンド需要にも対応するため、デジタルチケットの販売サイトにおいて、更なる多言語化機能も事業期間内に実装します。



Mobility with Emotion

Ma a S (Mobility as a Service)

複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス



1. 運営主体

小田急電鉄株式会社

2. プラットフォーム

Ma a S アプリ「EMot^{エモット}」デジタルチケットに特化した Web サービス「EMot^{エモット}オンラインチケット」

■ MaaSアプリ『EMot』とは・・・

モビリティサービスを支援する様々な機能を有するアプリです。デジタルチケットの決済や、シェアサイクル・タクシー等を含めた複合経路検索、オンデマンドバスの手配・決済等が可能です。



ぜひアプリのDL（無料）
をお願いいたします



■ Webサービス『EMotオンラインチケット』とは・・・

スマホ専用のデジタルチケット販売ツールです。既存の観光サイトや企業HP等のツール（黒子役）として開発。サイトと連携することでデジタルチケットの販売が可能となるため、現在複数のサイトへサービスを提供中です。



サイトへのアクセスは
こちらから



3. 実装による実証事業期間

2023年（令和5年）3月10日まで

4. 今後実装し、サービスインするコンテンツ

	実施内容	新機能の概要	開始時期（予定）
①	江の島周辺施設で新造したエリア周遊チケットの販売	EMot 利用者に対する 更なる割引キャンペーン	11月16日
②	WEB 広告等を含むデジタルマーケティングの推進	WEBサイトデータ分析基盤	11月16日
③	デジタルチケットの利用状況のデータ分析等の推進		11月16日
④	訪日外国人に向けたサービス機能の実装	中国語（繁体字・簡体字）機能	1月
⑤	鉄道・バス等の公共交通と藤沢市の観光施設等と連携したデジタルチケットの造成	利用時間制限機能	1月
⑥	デジタルスタンプラリー機能の実装	市内の周遊を促す、 デジタルスタンプ機能	1月
⑦	タクシーやシェアサイクルなどの二次交通を含むデジタルチケットの造成	二次交通の利用を促進する、 クーポンコード表示機能	1月
⑧	交通系チケットを含めた旅行商品の組成	交通系デジタルチケットや観光チケットをセットにした旅行商品の組成	1月

※詳細は別紙をご参照ください。

以上

＊＊この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 経済部 観光課 木村、坂野、藤枝、伊豆内、小島
内線：3421 直通：0466(50)3531